



歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

63
市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「秋田弁と昔話を楽しむ会
十周年の集い」
H22.11.7 取材



早いもので、今年も残すところ1カ月余り。1年…あつという
間ですね。さて今回は、中央公民館で開かれる「秋田弁と
昔話を楽しむ会十周年の集い」に突撃取材！ 会の発足10年の節
目を記念して開かれ、会員のほか小中学生、高校生も語り手とし
て登場すること。秋田弁でどんな語り口を披露するのか、聞
いてみよう。

楽しむ会は、情感あふれる秋田弁と心を育む言葉が詰まった民
話を若い世代に語り伝えていこうと、平成12年に発足。会員数は
50人、月1回の定例会のほか生涯学習フェスティバルでも秋田弁
で民話を披露しています。「よく来てくださる！じっくり聞いて
たんせ」と書いたためくりをめくって、いよいよ演目開始。語り
手が秋田弁で「むがし、むがし(昔昔)」と話し始める

「方言は大事な文
化」と愛恵さん

と、参加者はじっくりと聞き入り、時折笑い
声も。最後に「どっとはれ」で終わる
と、大きな拍手が送られています！
温もりある語り口で「寒竹の
子」を披露したのは、成章中
学校3年の**五十嵐愛恵さん**(葛原)。

「学校の『調べ学習』で、東北の民話を
調べようと思って、この会の会長さんに相談したんです。その時
に誘われて、おもしろそうだから出てみようかなって。ちょっと
間違っただけ、上手に話せました」と愛恵さん。ところで、話の

中の「けら」や「かんじき」「あば」って分かった？ 「分かります
よ。うちは、おじいちゃん、おばあちゃん、90歳を過ぎたひいお
じいちゃんもいますから。おまけにすごいなまって、おばあ
ちゃんなんか特に(笑)。昔からの『方言』は無くなると寂しいし、
大事な文化ですよね」。んー、心強いお言葉、みんなदैいつぺ秋
田弁使っていくべしなあく。

楽しそうに笑って聞いていたのは**加藤和子さん**(末広町)。知
人に誘われてきたそうで「昔聞いた話もあって、懐かしくほ
のぼのと聞いてましたよ。秋田弁は原点だし、改めて聞くとい
いもんですよ。私も普段は方言ばか
りで、むしろ共通語が使え
ないくらいだから
(笑)」という和子
さんですが、そ
んなになまって
ないですよ！
「そー、どこへ
行ってもこんな感じ
よ(笑)」。普段は家業を手

「秋田弁って本当にいい
ですよ」と和子さん



伝い、忙しい日々を送っているとのこと。「退職年齢に近くなってきたし、機会があればいろいろと出歩きたいですね」と、最後はきれいな共通語(?)で話してくれました。